

# 「勇気づけのピアノレッスン」

No.3

=最優先で「音楽の楽しさ」を伝えたい=

私がピアノ教室で子どもたちに最も伝えていきたいと思っている事は、やはり何といっても「音楽の楽しさ」です。困難なことや辛い事のみが前提の指導では、子どものやる気を引き出すことは、かなり難しいと感じます。多くの指導者の方々も同じように行っていると思うのですが、私の教室でも、体験レッスンでは子どもたちに思う存分「音楽の楽しさ」を味わってもらえるよう、工夫を重ね指導しています。例えば簡単な曲でも弾けた時はとても嬉しいものです。1回のレッスンで教えられることはほんのわずかではありますが、ピアノが弾けたという自信をつけることは、もっと弾いてみたいという意欲を育む事に繋がっていきます。「子どもに自信をもたせること」それがまさに「勇気づけ」です。ピアノを習う初歩の段階においては、ほんの少しの努力でも「弾ける」ということを体感させ、自信をもたせることに重点を置く指導を心がけています。

=子ども自身がピアノを習いたいと思った時に=

体験教室でレッスンを受けた子どもたちが、実際に入会する時にも、細心の注意を払っています。保護者の方の期待だけで入会するような事態はできるだけ避けたいと考えています。やはり子ども本人が「ピアノを弾きたい、習ってみたい」と思っているかどうかは、とても重要なポイントになると思うのです。もし、その時点で本人の気持ちがあまりにも消極的なように感じた場合は、保護者の方ともよく相談した上で、時期を見計らって、再度入会を検討していただくようお願いをする事もあります。これは、年齢の小さいお子さんも例外ではありません。アドラー心理学では、どんなに小さな子どもであっても、自分に決定権があることを学ぶことは可能であるとしています。私は子どもたちが「自らの行動は、自ら考え自らが決める」という姿勢を、小さい頃から身につけていく事を願い、保護者の方にもご協力いただいています。それがやがては、長くピアノを続けることになっていくと思うからです。

**アドラー心理学** フロイトやユングと並び心理学者の3大巨頭と称されるユダヤ系オーストリア人の心理学者アルフレッド・アドラー（1870-1937）が創始した心理学の体系。正式には「個人心理学（Individual Psychology）」と呼ばれ、自己啓発やコーチングの源流とも言われる。

松井美香

音楽家・音楽指導者・教育カウンセラー・  
勇気づけマスター・「藤沢勇気づけの会」代表

<Facebook> <https://www.facebook.com/mika.matsui.94>  
<ブログタイトル>  
～子どもから学ぶ～  
「イキイキワクワク親子コミュニケーション」  
URL: <http://ameblo.jp/makeachangewithlove/>

## 体験レッスンにはコレ!!

いろいろな遊び方で、  
生徒さんの“できること”がわかる  
『けんぱんボード』

先生も子どもたちもドキドキの体験レッスンでは、『けんぱんボード』が緊張をほぐしてくれるかも!? シールのようにくっつく“ピース”に子どもたちは大興奮!“作業”を通して、子どもたちのレベルがわかるなんて一石二鳥です。(いも)

【こんなことがわかります】

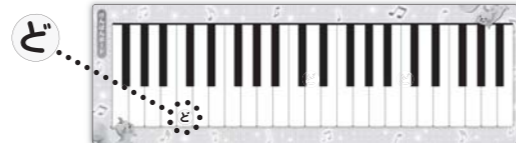
- ・ひらがなは読めるかな?
- ・**ど** **れ** **み** **ぬ** **そ** **ら** **し** を知っているかな?
- ・**ど**の位置を知っているかな?
- ・**ど**がひとつではないことを知っているかな?
- ・音符を読めるかな? ...など



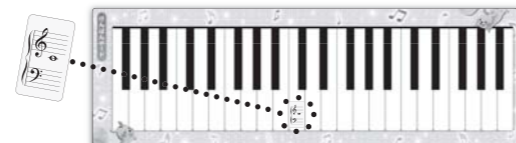
**みんな大好き!けんぱんボード**  
けんぱんボード=1枚/たいふひょうシート=1枚/おかたづけボード=1枚/  
おとのなまえピース&おんぶピース=60ピース ※収納 BAG 入り  
■本体価格 1,400円 (税別)

### いろいろな遊び方

●おとのなまえピースをけんぱんに貼る



●おんぶピースをけんぱんに貼る



●おかたづけボードにピースを貼る (総合わせ)



編集部のつぶやいたー!

切羽詰まらないとやらない性格、  
なおしたい... (いも)

Tsubuyaitter..... follow me

twitter [@gakken\\_music](https://twitter.com/gakken_music) リアルつぶやいたー  
日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!

Web版も  
バックナンバーが  
閲覧できる!  
ウェブならではの  
情報が満載!

# 学研 おんがく通信

5月号

2014年4月25日

Gakken  
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室  
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8  
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

いつも『学研おんがく通信』をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。今月号で4年目に突入いたしました! スタッフ一同、皆様により楽しんでいただける情報をお届けできるよう、これからも精一杯頑張っております。今後とも何卒よろしくお願いいたします! 皆様のご意見や感想もお待ちしております!

新しい生徒さんが入会されてそろそろ1ヶ月。レッスンは順調ですか?  
私は新しい日記帳がスタートして3ヶ月。空欄ができないよう、継続して書くようにしているのですが...気づいたら日にちが経っています。怖い怖い (お)

## 憧れの曲を楽しく演奏するために 「楽典」を学ぼう!

新学期がはじまり、ピアノやヴァイオリン、歌唱などの音楽教室に通われる方、新たな生徒さんを迎える先生方も多いことと思います。はじめて踏み込む音楽の世界...楽しくて、美しくて、想像するだけで心がワクワクします。憧れの曲を、優雅な気持ちで奏でられたら、どんなにすてきでしょう!

憧れの曲を演奏するためには、演奏技術を身につけることもとても重要ですが、演奏をはじめる前に、まず「楽譜を読む=読譜」の作業が必要になります。楽譜には、音符が並んでいるだけでなく、さまざまな演奏効果をもたらす要素が隠れています。この要素を読み解くには、「楽典」の知識が欠かせません。

「楽典」とは、読譜や記譜(楽譜を書く)をするために必要な知識のことです。  
主な内容として、音程、音階、調性、演奏記号・発想記号などの楽語、旋法、和音、和声、対位法、音名、リズム、拍子などがあります。

演奏をする上で、楽譜を正しく読み、理解をすることは基本になります。ただ単に音符を追いかけて演奏をするのではなく、楽譜上に書かれている内容をひとつひとつじっくりと読み解くと、初見で感じた印象から大きくイメージが変化したり、これまで見慣れていた楽譜からも新たな発見があるかもしれません。楽譜に記された音符や記号には、作曲家のメッセージが込められているのです。旋律のフレーズ感や、転調の関係性、不協和音の効果など、あらゆる演奏効果を事前に感じ取ることで、それらが曲を仕上げていくためのヒントになります。

音楽の知識や基礎を活かして、迷いなく、自由にのびのびと演奏に取り組めると良いですね。楽典を学ぶためのドリルやワークブックなどは、各社からさまざまなタイプの教材が出版されています。幼い生徒さんには、「楽典を取り入れるのはまだ早いな?」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、音楽をはじめたばかりの方でも学習できるよう、工夫されたものも多くあります。生徒さんの進度にあわせて、ぜひレッスンに取り入れてみてください。(の)

### 学研からはコレ!! ~「楽典」など音楽の基礎を学ぶおすすめ教材

「新版おんがくドリル」シリーズ

- 楽典の基礎を学ぶ: 新版おんがくドリル [全7巻] / 幼児版 [全2巻]
- 応用問題をたくさん解く:  
新版おんがくドリルワークブック [全7巻] / 幼児版 [全2巻]
- 音感を養う: ソルフェージュドリル [全4巻] / 幼児版 [改訂中]

「新版おんがくドリル」シリーズは、幼児から小学生を対象とした、音楽基礎能力を養うピアノ教室用のテキストです。ピアノ教室はもとより、学校の授業などにも活用され大好評をいただいています! 詳しくは、全国の楽器店で無料配布中の「おんがくドリル Navi」をご覧ください!



# 2011年5月号から おんがく通信 スタート!

2011年5月から始まったおんがく通信、2014年4月号で通算36号となりました。「今日は何の日」「つむりの練習手帳」など30回以上掲載し続けているコーナーもあります。ちなみに、おんがく通信の挿絵は毎月担当者が描いています。



## 「名曲のたのしみ、吉田秀和」全5巻

2012年5月に吉田秀和さんが逝去されて2年が経ちました。吉田さんは音楽評論の第一人者として、亡くなる直前まで日本のクラシック音楽界を牽引し続けました。この通信をお読みの方々の中にも吉田さんによってクラシック音楽のファンになった、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか? かくいう私(く)も、吉田さんの書籍や雑誌の記事などの数々に触れ、クラシックに惹きこまれていったひとりです。そんな吉田さんのライフワークのひとつに、NHK-FMの「名曲のたのしみ」がありました。1971年4月から2012年12月に至る、何と40年以上、吉田さんが単独解説者としてクラシック音楽を紹介してきた番組です(逝去後の約20回はプロデューサーが代読)。この番組を毎週楽しみにしていたリスナーの方々からは、番組の終了を惜しむ声がNHKに数多く寄せられたそうです。吉田さんの逝去を悼む特番を企画するにあたり、番組がこれまでの放送の録音記録をリスナーに募集したところ(デジタル化される前は、局に記録を残していなかったため)、すぐに90%近くの記録が集まったということからも、いかに多くの方々がこの番組を、吉田さんを、愛していたかが伺えます。そうしたリスナーの方々への思い、全国の吉田さんファンの思いに応えたい、吉田さんの偉業を形に残したい、というNHKの番組関係者の熱い思いから生まれたのが、書籍「名曲のたのしみ、吉田秀和」です。書籍名は、番組の吉田さんによるタイトルコールからとりました。(く)



ベートーヴェン4コマ劇場  
**運命**  
呼ばないで  
伝記漫画じゃなくて  
ギャグ漫画!?

あらすじ  
舞台は1801年、ウィーン。ピアニスト志望の少年リース(16)は、ベートーヴェン(30)への弟子入りを志願して扉を叩くが…?



指揮者・佐渡裕氏推薦!!  
作: NAXOS JAPAN 画: IKE  
■A5判/口絵8頁+128頁/4C+1C/本体価格1,000円(税別)  
「運命と叫ばないで」特設ページ  
[http://naxos.jp/special/no\\_unmei](http://naxos.jp/special/no_unmei)



## 5月7日は交響曲第9番の初演 された日!

Ludwig van Beethoven (1770-1827)

1824年5月7日、ウィーンのケルントナートーア劇場で、ベートーヴェンの交響曲、第9番が初演されました。  
★それから約1世紀を経た1918年(大正7年)6月1日、日本で第九が初演されます。場所は徳島県鳴門市。第一次世界大戦のさなか、鳴門市の大麻町には板東俘虜収容所があり、千人のドイツ兵が収容されていました。ここ板東収容所は、所長の松江豊寿中佐(1917年から大佐)の指揮のもと、捕虜に対して公正で友好的な対応をしたことで知られています。捕虜たちには自主活動が許され、地元の住民たちとの交流の中で、音楽をはじめとするドイツ文化の紹介も盛んに行われていたそうです。そうした中、捕虜たちで構成された徳島オーケストラの第2回演奏会で第九の全楽章が演奏されました。指揮は、軍楽隊長のヘルマン・リヒャルト・ハンゼン。ただ、場所が収容所内だったため、日本人の聴衆は収容所の関係者だけ。また楽器が足りずオルガンを代用したり、合唱は男声用に編曲されていたため、これを初演とするかどうかは意見が分かれるところらしいですが…  
★このエピソードに基づいた映画「バルトの楽園」(2006年公開/松平健、ブルーノ・ガンツ出演)をDVDで観ることができます。男声用に編曲された合唱も聴けます  
★日本の公式初演は、1924年11月。東京音楽学校(現東京藝術大学)がドイツ人教授、グスタフ・クロウンの指揮によって演奏したものとされています。(く)



2014

2012

2011

### つむりの 練習手帳

4年前のつむりは、サボってばかりでピアノがうまくなる感じじゃ全然なかったけど、今は上手だなあって思います。ほめちゃうと調子にのっちゃうから言わないけど、今年のコンクールも桜より早く散っちゃったけど、去年よりも手ごたえがあったみたい。ところで最近、ずっとナイショにしていたこのコーナーの存在がバレちゃってピンチです。(トホホお兄)



## ぴあのどリーむ情報

みなさまに支えていただき、おかげさまで「ぴあのどリーむ」シリーズは発刊21周年を迎えています。こんなに長い間愛されるシリーズになったこと、本当に嬉しく、心より御礼申し上げます。この「おんがく通信」でも「ぴあのどリーむ」にこめられた、編者の田丸信明先生の想いや、編集部のご協力のおかげで、2年間にわたってシリーズを詳しくご紹介させていただきました。いかがでしたでしょうか? 少しでも「ぴあのどリーむ」シリーズに興味を持っていただけたら、コーナー担当としてこれほど嬉しいことはありません。さて、編者・田丸信明先生の出版物には、この「ぴあのどリーむ」のほかにも、「おんがくドリル」シリーズや「ピアノの森」シリーズ…と大人気のシリーズがたくさんあります! こういったシリーズを使いこなすコツや田丸信明先生の理念、さらに編集秘話(!?)など、もっと詳しく、もっとたくさんの方の「おんがく通信」を通じて読者のみなさまにお伝えしていければと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします!(か)



2013

### ● バジルの先生のアレクサンダー・テクニク ●

欧米ではジュリアード音楽院など有名な音楽学校で必ず教えられている「アレクサンダー・テクニク」という「心と身体の演奏法」は、「心と身体の緊張」を改善するのにとっても効果的なメソッドです。類書の発刊も相次ぎ話題となっていますが、よく言われる管楽器だけでなく、弦楽器やピアノにも共通して活用できるものです。これまでのコラムで紹介した肩こり腰痛解消エクササイズ以外に、パソコンなど日常作業についても効果的なアレクサンダー・テクニク。ご興味のある方は、ぜひこちらをご覧ください。  
<アレクサンダー・テクニクについて> <http://www.alexandertechnique.co.jp/>  
<バジルの先生のブログ> <http://basilkritzer.jp/>

バジルの先生の新刊発売!  
『吹奏楽部員のためのココロとカラダの相談室~吹奏楽指導編』が、5月下旬に発売されます! 吹奏楽に限らず「人にもものを教えるにあたってのお悩み解決」ができる本です。詳細は次号にてご紹介。ぜひ、お楽しみに!



### 今月のあかね先生

第1号では、ほんのちっぽけなコーナーでした(振り返ってみてビックリ!)。おかげさまで、どんどんコーナーは大きくなり、最近では、「レッスンルーム」なんていうコーナーもできたりして…。あかね先生からは「そんなに出さなくても…」なんていう言葉もいただいているのですが、読者の方からのご要望があるので、続けさせていただきます!! 笑  
いつも情報を掲載しているセミナーは大好評!! しかし、あかね先生も日々レッスンをされているため、お店に伺える日程が限られてしまいます。その分(先生の代わりにとはとてもなりません)、このコーナーであかね先生のセミナーの雰囲気をお伝えしていければと思います。4年目も、どうぞよろしくお願いいたします!(いも)

- \*今月のセミナースケジュール\*
- 5/9(金): [奈良県/奈良市] 島村楽器 奈良店 『子どもが飽きないリズムのレッスン-導入編』
  - 5/22(木): [千葉県/船橋市] 伊藤楽器 ヤマハピアノシティ船橋 『ピアノ・テクニクのレッスン法 ~初歩からすてきな音をならしましょう~』
  - 5/28(水): [東京都/武蔵村山市] two-five イオンモールむさし村山店 『子どもが飽きないリズムのレッスン-導入編』

## おんがく通信 4年目突入!

今月号から4年目に突入! また1年、たくさんのおんがく通信を皆様にご提供できるよう頑張ります。おんがく通信は第1号からWEB版をおんがく.netに掲載しています。是非、ご利用ください! <http://gakken-publishing.jp/ongaku/>

